

フードバンクちは通信

フードバンクちは 〒260-0835 千葉市中央区川崎町 60 (花の駅そが内)

2026年8月13日に千葉県内で発生した豪雨によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。支援物資等を希望される支援団体は、フードバンクちばまでご連絡ください。

なお、大変恐縮ですが、個人の方からの直接のご連絡は受けておりません。まずはお住まいの地域の相談支援機関にご相談ください。

Vol.30

2026年
8月発行

千葉ロータリークラブより キッチンカーを贈呈いただきました。

CONTENTS

- 1 千葉ロータリークラブよりキッチンカーを贈呈いただきました。
- 2 生活協同組合の仕組みを生かした、新しい支援の形が広がっています。
- 3 さまざまな分野でのサステナブルな取り組みについてご紹介します。
- 4 フードドライブの取り組みが広がり、地域で集めた食品が地域の支援に活かされています。
- 5 2025 年度報告
- 6 「花の駅そが」公園で始まった地域イベントは、多くの方々に支えられ、今では恒例となっています。

現在の支援状況

2026年4月～8月までに提供した食品

団体: 約**36.8**トン
(のべ309件)

個人: 約**6.4**トン
(のべ786件)

内訳: お米・調味料・パスタ・そうめん・缶詰・菓子・飲料・災害備蓄品など

千葉ロータリークラブ75周年記念事業として贈呈いただきました。

2026年5月17日(日)千葉ロータリークラブ75周年記念式典&祝賀会が、京成ホテルミラマーレにて、千葉県内のロータリークラブ会員総勢300名以上が集まり、盛大に開催されました。記念式典では、これまでの千葉ロータリークラブの活動の歴史と功績を動画で振り返りました。そして、75周年記念事業として、千葉県内の食支援発展に寄与することを目的に、フードバンクちばにキッチンカーが寄贈されました。青柳会長より大きな鍵のレプリカを贈呈いただき、会場となったホテル前には、いただいたキッチンカーも展示されました。これまでも長きにわたり陰に日向に活動を支えてくださった株式会社レプコの野本社長をはじめ、ロータリークラブの会員の皆さまにこの場をお借りして心より感謝申し上げます。今回いただいたキッチンカーは、フードバンク活動だけでなく、千葉県内の福祉事業や地域活動など、さまざまな場面で活用していきたいと考えています。「おたまちゃん号」と名付け、フードバンクの新たなシンボルとして、千葉県内を走ります！キッチンカーの貸し出しには所定の手続きが必要となります。また、設備使用料などをご負担いただく場合がありますが、できるだけ多くの皆さまに活用していただけるよう、なるべくコストを抑えた運用を目指しています。



キッチンカーのベースは、マツダのボンゴ1.5トントラック。内装も外装もフードバンクちばの要望に合わせて作っていただきました。

キッチンカーの心臓部 車内設備もリニューアルいただきました。

車内には、冷蔵庫、冷凍庫、ガスコンロ、フライヤー、電子レンジ、水道2口等、調理や食品の取り扱いに必要な設備を備えています。電化製品を使用するための発電機も搭載しており、燃料にはガソリンを使用します。ガスコンロやフライヤーを使う場合は、プロパンガスボンベを使います。給水タンクと排水タンクはそれぞれ約80リットルの大容量です。



生活協同組合の仕組みを生かした、新しい支援の形が広がっています。



「買って応援！」で寄付されたフードバンク応援商品

長引く物価高騰でフードバンクに寄贈される食品量が減少していることを受けて、千葉県内の生活協同組合（以下、生協）では、組合員がフードバンク応援商品を購入すると、そのままフードバンクへ寄贈されるという生協の仕組みを生かした新たな支援の取り組みが広がっています。これは「食品を寄付する場所が近くにない。」「余分な食品はないけれど、困っている人の力になりたい。」という組合員の声に応えるものでもありました。千葉県全域に宅配拠点を持つ生協と千葉県フードバンク団体連絡会のマッチングにより、組合員が購入した商品は、地域のフードバンク団体や支援機関に寄付され、地域の支援に活用されます。実施時期や回数は、各生協によって異なりますが、概ね給食がなくなる夏休み・冬休み・春休みに配布できるようなタイミングで設定いただいています。これにより、フードバンクの寄贈量は改善するとともに、ニーズの高い食品が必要な時期に確保できるようになり、フードバンク団体全体の支援力向上にもつながっています。そしてこの取り組みを通じて、支援された方々には、お腹が満たされる安心感と同時に、大勢の組合員の方々のまごころも届けられています。

● コープみらい宅配センターとのマッチング

フードバンク団体	担当センター
フードバンク ISS	佐倉センター 印西センター
いちかわフードバンク	浦安行徳センター 市川センター
かずさフードバンク てとて	姉崎センター 市原センター 君津センター
おいでん検見川	中央センター 千葉南センター
フードバンクさんぶ	八街センター 成東センター 睦沢センター
とうかつ草の根フードバンク	松戸センター 柏北センター
フードバンク我孫子手賀沼	柏南センター
まつどフードバンク	松飛台センター
フードバンク安房	安房センター 館山センター
フードバンクふなばし	湾岸センター 八千代センター
フードバンクちば	千葉海浜センター 千葉北センター 習志野センター
フードバンクちば（北総拠点）	北総センター 成田センター

地域の助け合いを広げるという大きな意義がある一方、いくつかの課題もあります。生協側では企画から商品化、そして取り組みの周知、購入後の配送手続き、組合員への結果報告など、通常の商品販売とは異なる負荷が生じます。担当者自らフードバンクへ配送して下さっているケースも多く、寄贈量が増えればその負担も大きくなってしまいます。

フードバンク側では、受け取り、分配調整、保管、支援先への適切な分配、支援状況の報告など、事務作業の負担が増加しています。どこかに負担が偏らないようにしなければなりません。今後も、「まごころ」を届け、「福」を分かち合い、そして現場に関わるすべての方々が、最後に少しほっこりした気持ちになれるようなそんな取り組みとして継続・発展していくことを願っています。

生活協同組合コープみらい

「買って応援！ ほっこりセット」

手間をかけずに小学生でも作れるように、温めるだけのレトルトカレー等が選ばれました。

生活クラブ生活協同組合

「おふくわけ」

一人ひとりの注文をまとめて、その合計数量分の国産米が寄付されるという企画も大変好評でした。

生活協同組合パルシステム千葉

「買って応援！ まごころセット」

おかずセットの他にもやつセットもあり、施設や子ども食堂等の支援に役立っています。

「買って応援！」の取り組みは、フードバンク活動による食品ロス削減とは異なる新たな支援の形です。食を通じて

注文するには

●注文受付期間

7月3回
7月6日(月)～7月10日(金)

以下の6桁番号でOCR、eフレンズ等でご注文ください。
申込番号 297147「買って応援！ほっこりセット」
本体562円(税込606円)

26年7月の「買って応援！ほっこりセット」の内容

ビーフカレー・甘口 180g ……2個

ビーフカレー・中辛 180g ……1個

さばみそ煮 80g(固形量60g) ……1個

フードバンクからの「おかずになる物が助かる」「レトルトカレーの甘口はあまり手に入らないので助かっている」という声から昨年度の内容を見直ししました。

コープみらい「買って応援！ほっこりセット」

252077

フードバンク
おふくわけ米
(寄付)

一人ひとりの注文をまとめて、
国産のお米を5kg単位で地域の
支援組織に送ります。

1口
448円(税込484円)
[規格容量]
約0.55kg(お届け規格は5kg)

生活クラブ生活協同組合「おふくわけ」の例

無洗米

91 山形県産はえぬき
JAさがえ西村山
5kg

9口の注文が
集まると
1袋(5kg)のお米を
届けられます

常温品セット

ポイントでも購入OK

常温セット内容

●日本のいわし水漬
130g×1箱

●餅屋が作った赤飯
150g×1箱

●産直たまごのふわふわスープ
75g×1箱

現金の場合
1セット
579円(税込)
注文番号 133209

ポイントの場合
1セット
579ポイント
注文番号 169978

おやつセット

ポイントでも購入OK

おやつセット内容

●蜜柑ゼン(ミックス)
×1箱

●災害備蓄 ぽんかん
×1箱

●産直小栗の
ベルギーワッフル(バター)
×1箱

●「キャロトとん」
にんじんたまものジュース(AS)
500ml×1本

現金の場合
1セット
461円(税込)
注文番号 133213

ポイントの場合
1セット
461ポイント
注文番号 169986

パルシステム千葉「買って応援！まごころセット」の例

さまざまな分野でのサステナブルな取り組みについてご紹介します。

ふるさと納税の仕組みを生かした

「こどもふるさと便」

ネスー株式会社様では、地方自治体と連携し、ふるさと納税を活動資金に、地域の特産品などで子ども達を支援する「こどもふるさと便」を運用しています。昨年に引き続き、今年も旭川市と連携した「こどもふるさと便」を千葉県中核地域生活支援センターが実施する県立高校定時制の居場所づくり事業で活用させていただきました。旭川産のお米「ななつぼし」を届けることで、子ども達への食支援につなげるとともに、受け取った子ども達や寄付をされた方々に、旭川産のお米のおいしさを知ってもらうことも目的としています。高校生の中には、家庭の事情などから十分に食事を摂ることが難しい生徒もいます。今回のお米の配布では、「お母さんが喜ぶ」と嬉しそうに持ち帰る生徒の姿も見られ、大変喜ばれました。



社会貢献の取り組みを応援する「サステナブル定期預金」

株式会社千葉興業銀行様には、行員の方々の募金で購入した食品やフードドライブで集めていただいた食品のご寄贈など、以前よりフードバンクの活動にご協力いただいています。この度は、新たな金融商品である「サステナブル定期預金」の寄付先としてフードバンクちばをご指名いただきました。「サステナブル定期預金」は、法人のお客さま向けに期間限定で取り扱う定期預金で、預入額は1000万円以上5億円未満。適用利率は店頭金利よりやや高めとなっていて、預入額の0.01%相当を、社会課題の解決に取り組んでいる団体に寄付する仕組みとなっています。2025年12月から2026年3月まで販売されたこの商品には、130以上の法人の皆さまにお預け入れいただき、預入総額は約62億円を超えました。そして6月10日(水)の贈呈式にて、その0.01%にあたる約62万円を贈呈いただきました。このような大きなご支援をいただけたとは思っておらず、ありがたいという気持ちとともに、正直なところ驚きも隠せませんでした。千葉興業銀行様のご厚意はもちろん、私達の取り組みに賛同してくださった法人の皆さまに、あらためて心よりお礼申し上げます。

食品の保管に欠かせない折りたたみコンテナ

なのはな生活協同組合様より、食品保管用コンテナの入れ替えに伴い、使用済みの折りたたみコンテナをご寄贈いただきました。折りたたみコンテナは、食品を保管する上で欠かせないアイテムの1つです。丈夫で使いやすいうえ、使用しない時には折りたたんで収納できるため、大変重宝します。一方で、価格が高く、必要な数量を揃えることは容易ではありません。今回は、使い勝手の良い小さめの2サイズ、合わせて700個以上ご寄贈いただきました。いただいたコンテナは、フードバンクちばで大切に活用するとともに、千葉県内のフードバンク団体や支援機関でも、食品の保管・運搬などで有効活用させていただく予定です。



食品配布や配送にも大活躍の紙袋とエコバッグ

宍倉株式会社様より、ロゴマークのリニューアルに伴い、使わなくなってしまった紙袋とエコバッグのご寄付のご相談をいただき、ありがたくお受け取りさせていただきました。丈夫でおしゃれなパッケージで、他の団体からも「食品の配布やお届けの際にとっても役立っています」と大変喜ばれています。フードバンクちばでは、支援食品を発送する際のダンボールの代わりとしても紙袋を活用させていただいて、ダンボール購入費用の節約にも一役買っています。宍倉株式会社様、貴重なご寄贈をありがとうございました。



フードドライブの取り組みが広がり、地域で集めた食品が地域の支援に活かされています。

第40・41・42回フードドライブにご協力いただきありがとうございました。

第40回:13.5トン・第41回:8.4トン・第42回:6.1トン

フードバンクちばへ届くフードドライブでの寄贈量は減少傾向が続いていますが、フードドライブの回収場所は県内に広がっていて、地域で集めた食品を地域の支援に還元する取り組みが根付きはじめていると感じています。

千葉県ママさんバレーボール連盟

千葉県ママさんバレーボール連盟では、大会共催企業である株式会社京葉銀行様のフードドライブの取り組みに賛同し、2022年より「千葉県ママさんバレーボールシニア秋季大会(α杯)」にてフードドライブを実施いただいています。大会参加者に食品の提供を募り、毎回記録更新を目指し、大変多くの食品を届けていただいています。「バレーボールを通した心身の健全な発展と、輪の広がりを願う」という連盟の趣旨のもと、参加者の皆さまの熱い協力によって、フードドライブの取り組みが着実に広がっています。



千葉スバル株式会社

千葉スバル株式会社様では、フードドライブ活動を「一つのいのちプロジェクト」として位置づけ開催いただいています。今年の夏のフードドライブは8月22日(土)から8月30日(日)の期間で、お盆休み期間中に余ってしまった食品や夏休み中の片付けで出てきた不要な食品などの提供を広くお客様に呼びかけ、県内のスバルのお店で集めています。「一つのいのちプロジェクト」とは、「人を中心としたモノづくり」のなかで、安全を最優先に考え、乗る人の「いのち」を守るということ。その思いとともに、フードバンク活動も応援いただいています。

株式会社千葉ジェッツふなばし

4月25日(土)26日(日)広島ドラゴンフライズ戦のホームゲームにおいて、「JETS ASSIST DAY2026」が開催されました。JETS ASSISTとは「JETS ASSISTがハブとなり、ウェルビーイングな社会を創る」を活動理念とした千葉ジェッツの社会的責任活動です。当日は、LaLa arena TOKYO-BAYの場外エリアや近隣公園においてクラブの取り組みやSDGsをより身近に感じていただくため、活動紹介パネルの展示や社会課題をテーマにしたブースの出展、デジタルスタンプラリーなどを実施し、「フードドライブ」にも取り組んでいただきました。イベント当日は市立船橋高校商業科の皆さんが受付や接客のお手伝いをしてくれました。



夏休みを利用してたくさんの学生や子ども達がフードバンクのボランティアに来てくれました。

夏休みボランティア体験講座

千葉市社会福祉協議会が毎年開催している「夏休みボランティア体験講座」は、千葉市内在住・在学の小学4年生から大学生を対象に、夏休みに福祉体験やボランティア活動等を通して、社会の中で支え合うことの大切さと必要性を学ぶ講座です。小中学生コースは、5日間の日程でさまざまな分野の活動を体験します。高校生・専門学生・大学生コースでは、体験先を選んで2日間活動します。両コースとも、食品の仕分けや届いた寄贈品・お米の運搬、支援食品の箱詰めをお手伝いいただきました。



フード連合親子ボランティア

フード連合では、構成団体に広く呼びかけ、毎年、親子を中心としたボランティア体験会を実

施しています。毎年参加してくれているSちゃん親子は、初めて参加する方へのサポートもバッチリ。今年は石井食品労働組合より、常温保存が可能なミートボールをいただき、早速、支援に活用させていただきます。

ジェフユナイテッド市原・千葉アカデミー

ジェフユナイテッド市原・千葉には、9歳から18歳までの選手が所属する、アカデミーがあります。アカデミーではサッカー選手としてだけでなく、将来社会で活躍できる人材育成としてピッチ外の活動にも力を注いでいます。フードバンクちばでは、クラブでフードドライブの活動にご協力いただくとともに、アカデミー選手が食品ロスや生活困窮について学ぶ機会として活用いただいています。



©JEFUNITED

千葉トヨタ自動車株式会社 & T.P.S.E

T.P.S.Eは to plants seeds in eda の略で、館山市江田の耕作放棄地を活用し、地域活性化を目指す市民団体で、千葉トヨタ自動車株式会社様の「みどりの千葉プロジェクト」の田植え体験で蘇った田んぼで栽培を続けています。2025年度も新米「粒すけ」30kgを5袋ご寄贈いただきました。



年間を通じてフードドライブを実施している企業・団体

株式会社イトーヨーカ堂(県内3店舗)・大多喜ガス株式会社(県内2店舗)・株式会社ダイエー(千葉市内1店舗)・株式会社銚子丸(県内全店舗)・千葉マリスタジアム株式会社(千葉市内5施設)・株式会社マルエツ(千葉市内6店舗)・株式会社ミスターマックス・ホールディングス(県内3店舗)・株式会社レブコ(県内全店舗)・生活協同組合コープみらい(千葉市内3店舗)

千葉ロータリークラブ加盟企業を中心に、多くの企業や団体がフードドライブにご協力くださっています。

旭建設株式会社、Aro マルシェ、イオンモール株式会社、イオン従業員組合、市原中央ロータリークラブ、エー・シー・エス債権管理回収株式会社、社会福祉法人笑顔、NTT東日本 千葉事業部、株式会社カーブスジャパン、勝浦市役所生活環境課、株式会社かんぼ生命保険千葉支店、株式会社協栄、株式会社京葉銀行、コストコホールセールジャパン株式会社、株式会社JAL サンライト、JA千葉グループ女性部、JFEスチール労働組合、ジェフユナイテッド株式会社、池証山鴨鷺寺正覚院、シンコースポーツ株式会社、社会福祉法人翠昂会、生活協同組合(コープみらい・生活クラブ千葉・千葉県生活協同組合連合会・千葉県庁生活協同組合・なのはな生活協同組合・パルシステム千葉)、生長の家白鳩会千葉教区連合会、一般社団法人全国スーパーマーケット協会、損害保険ジャパン株式会社、ダイハツ千葉販売株式会社、TIPTOP、株式会社千葉銀行、千葉県循環型社会推進課、千葉県信用保証協会、公益財団法人ちば県民保健予防財団、株式会社千葉ジェッツふなばし、千葉県ママさんバレーボール連盟、千葉県労働者福祉協議会、株式会社千葉興業銀行、千葉市高齢障害支援課、千葉市廃棄物対策課、株式会社千葉ステーションビル、千葉スバル株式会社、千葉トヨタ自動車株式会社、千葉フード連合(合同酒精労働組合・ヒゲタ醤油労働組合 他)、株式会社千葉マツダ、千葉ロータリークラブ、銚子信用金庫、ティップネス蘇我、天台宗北総仏教青年会、東京海上日動火災保険、東京電力パワーグリッド株式会社千葉総支社、日本航空株式会社 客室業務部、フィデス株式会社、フジセイコー株式会社、フードバンクを支援する会、三井住友海上火災保険株式会社、UA ゼンセン千葉県支部、株式会社R・AD、リコージャパン株式会社 他

2025年度報告：食品の支援実績をご報告いたします。

【支援量】92.4トン(前年比20%↑)

団体 のべ 680団体 75.7トン(前年比26%↑) 個人 のべ 1925件 16.2トン(前年比0%➡) その他 0.5トン

● 食品を支援した団体

あいこカフェ、アビーズ、市川ガンバの会、ウルトラ運動会実行委員会、ever LinC、おむすび食堂、オリーブ轟、かにた婦人の村、君津市周西ファンベース、君津まちなか子ども食堂、木更津みなと口こども食堂、幸福軒子ども食堂、こども食堂からべえ、子ども食堂ひまわり、市民ネットワークちば、(一社)Spice、すぽっと幕張、ダイバーシティ工房、辰巳台地域子ども食堂だんだん、千葉愛の教会、ちばこどもおうえんだん、千葉こども宅食プロジェクト、ちば産学官連携プラットフォーム、千葉市東部・西部児童相談所、千葉市ひとり親家庭福祉会、習志野子ども食堂ネットワーク、ハイジの会、ハイティーンズサポートちば、畑町子ども食堂、花園みんなのカフェ「TOMO」、ピッピ子ども食堂、富津こども食堂 きみはま さっちゃん食堂、平和園、株式会社ベストサポート、(一社)マザーズ・コンフォート、満腹食堂、花の実園、支援センターはなみがわ、ユニバーサルキリスト教会、ゆめいろ食堂、労働・生活相談 inちば、ワークショップぱれっと、フードバンク団体(11団体) 他

● 食品を提供した関係機関

行政(10団体)、社会福祉協議会(40団体)、生活困窮者自立支援事業者(12団体)、中核地域生活支援センター(16団体)、高齢者関係機関(2団体)

● 個人への食品配送申請機関および団体

行政(30団体)、社会福祉協議会(28団体)、生活困窮者自立支援事業者(21団体)、中核地域生活支援センター(8団体)、高齢者関係団体(5団体)、その他の団体(5団体) 他

2025年度報告：団体や企業からたくさんのご寄贈をいただきました。

【寄贈量】88.1 トン（前年比 23% ↑）
団体 のべ 177 団体 56 トン（前年比 57% ↑）
個人（団体フードドライブ含） 30.3 トン（前年比 94% ↓） 内フードバンクちばへの持ち込みおよび送付 のべ 245 件 1.8 トン

【主な寄贈団体】（敬称略・50音順）（注）公表を希望されない団体・企業様については、こちらには掲載しておりません。					
旭市総務課	防災備蓄食品	699.2 kg	千葉市立海浜病院	防災備蓄食品	70.8 kg
旭食品株式会社東関東支店	食品各種	57.5 kg	千葉信用金庫	防災備蓄食品	5581.7 kg
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張	バックご飯、レトルト食品	143.8 kg	株式会社千葉ステーションビル	防災備蓄食品	497.9 kg
イオントップバリュ株式会社	米	120 kg	月島ジェテクノメンテサービス株式会社	防災備蓄食品	129.3 kg
UBEエラストマー株式会社千葉工場	防災備蓄食品	13.8 kg	株式会社テルヴィス	飲料、調味料	549.1 kg
エステ・スクエア青葉の森管理組合	防災備蓄食品	52.1 kg	東海工機株式会社	防災備蓄食品	302.2 kg
NTTコムウェア(株)	防災備蓄食品	77.6 kg	東鉄工業株式会社千葉支店	防災備蓄食品	237 kg
NTT東日本千葉事業部	防災備蓄食品、缶詰	138.9 kg	東方地所株式会社	米	400 kg
エヌ・ビー・ワイ株式会社	米	160 kg	株式会社永谷園ホールディングス	フリーズドライ食品 他	94 kg
大多喜ガス株式会社	防災備蓄食品	427.2 kg	株式会社日本資産総研	防災備蓄食品	5.5 kg
有限会社オフィス5	菓子	34.9 kg	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	防災備蓄食品	284.8 kg
株式会社菊迺舎本店	菓子	292.7kg	日曹エンジニアリング株式会社千葉事業所	防災備蓄食品	85.8 kg
QO株式会社	防災備蓄食品	24.3 kg	(一社)日本海事協会社	防災備蓄食品	16.1 kg
京成建設株式会社	防災備蓄食品	13.2 kg	(一社)日本最適化栄養食協会	防災備蓄食品	171 kg
生活協同組合コープみらい	米、フードバンク応援商品 他	5989.6 kg	日本電技株式会社千葉支店	防災備蓄食品	130.6 kg
越田商店	サバの干物	406.5 kg	ネスー株式会社	米	801.5 kg
コストコホールセールジャパン株式会社	缶詰	139.2 kg	農林水産省関東農政局	防災備蓄食品、缶詰	56.8 kg
サトウ食品株式会社	切り餅	2020 kg	農林水産省農産局穀物課	政府備蓄米	1000 kg
京成電鉄株式会社	防災備蓄食品	50 kg	野村證券株式会社	防災備蓄食品	100 kg
コストコホールセールジャパン株式会社	缶詰	406.9 kg	生活協同組合パルシステム千葉	フードバンク応援商品 他	1618.7 kg
JR蘇我駅	カップ麺	8.4 kg	東日本旅客鉄道株式会社	防災備蓄食品	538.3 kg
JFEテクノリサーチ株式会社	防災備蓄食品 他	50.9 kg	株式会社幕張メッセ	防災備蓄食品	494.1 kg
株式会社JERA千葉火力発電所	防災備蓄食品	86 kg	株式会社マザール	菓子	111.5 kg
住友重機械工業株式会社	防災備蓄食品	37 kg	全国マツダ販売店協会・千葉マツダ	防災備蓄食品	207.8kg
生活クラブ生活協同組合千葉	米、フードバンク応援商品 他	2366.6 kg	マブチモーター株式会社	防災備蓄食品	305 kg
株式会社セブンイレブン・ジャパン	防災備蓄食品	25.8 kg	みずほ信託銀行千葉支店	防災備蓄食品	19.2 kg
全国農業協同組合連合会	牛乳	874 kg	三井住友海上火災保険株式会社	缶詰	148.9 kg
ソニーカスタマーサービス株式会社	防災備蓄食品	84.5 kg	株式会社 mizkan	調味料、飲料	192.8 kg
損害保険ジャパン株式会社	防災備蓄食品	101.5 kg	株式会社 mitoriz	菓子	14.1 kg
大和ハウスリート投資法人	防災備蓄食品	1063.5 kg	株式会社ミライト・ワン	防災備蓄食品	127.9 kg
株式会社千葉銀行	米、防災備蓄食品 他	3977.8 kg	明治ホールディングス株式会社	菓子、レトルト食品	162.9 kg
千葉県企業局	防災備蓄食品	744.7 kg	モランボン株式会社	調味料	26.9 kg
千葉県循環型社会推進課	防災備蓄食品	657.9 kg	モンテ物産株式会社	防災備蓄食品	218.5 kg
千葉県身体障害者福祉事業団	防災備蓄食品	74.1 kg	ヤマサ醤油株式会社	調味料	3406.6 kg
公益社団法人千葉県不動産鑑定士協会	防災備蓄食品	5 kg	ライオンズクラブ国際協会333-C地区	粉ミルク	424.2 kg
千葉県防災対策課	防災備蓄食品	2331.5 kg	株式会社 LEOC	防災備蓄食品	1348.5 kg
株式会社千葉興業銀行	防災備蓄食品	502 kg	株式会社レゾナック	防災備蓄食品	108.7 kg
千葉財務事務所	防災備蓄食品	175 kg	ロイヤルホームセンター株式会社	防災備蓄食品	292.6 kg
千葉市防災対策課	防災備蓄食品	322.1 kg	株式会社ロジスティック・パートナー	飲料	13.4 kg

2024年度報告：フードバンクちばはサポート会の皆さまに支えられています。

【個人会員】89 名
【団体・法人会員】80 団体（敬称略）

社会福祉協議会
旭市社会福祉協議会
我孫子市社会福祉協議会
いすみ市社会福祉協議会
市川市社会福祉協議会
市原市社会福祉協議会
浦安市社会福祉協議会
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
鴨川市社会福祉協議会
木更津市社会福祉協議会
神崎町社会福祉協議会
栄町社会福祉協議会
佐倉市社会福祉協議会
山武市社会福祉協議会
酒々井町社会福祉協議会
芝山町社会福祉協議会
白井市社会福祉協議会
袖ヶ浦市社会福祉協議会
多古町社会福祉協議会
東金市社会福祉協議会
東庄町社会福祉協議会
富里市社会福祉協議会
長柄町社会福祉協議会
習志野市社会福祉協議会
成田市社会福祉協議会
野田市社会福祉協議会
富津市社会福祉協議会
松戸市社会福祉協議会
南房総市社会福祉協議会
八街市社会福祉協議会
八千代市社会福祉協議会
横芝光町社会福祉協議会

企 業
旭食品株式会社東関東支店
株式会社千葉ケイテクノ
株式会社銚子丸
有限会社平山牧場
三木造園土木株式会社

中核地域生活支援センター・生活困窮者自立相談等相談機関関係団体
柏市地域生活支援センターあいネット
大網白里市生活相談センター C るーと
特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎
特定非営利活動法人長生夷隅地域のくらしを支える会
社会福祉法人福祉楽団
基幹相談支援センター「ふらっと船橋」
社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特定非営利活動法人リンク

福祉施設・子ども食堂関係団体
おむすび食堂
かいじんフードパントリー
木更津みなと口こども食堂
幸福軒こども食堂
乳児院コミュニティ長柄
社会福祉法人生活クラブ
社会福祉法人習愛会花の実園
富津子ども食堂 きみはま さっちゃん食堂
ふなばし子ども食堂ネットワーク
一般社団法人 BRIGHT
生協関係団体
千葉県生活協同組合連合会
生活協同組合コープみらい
生活クラブ生活協同組合
生活協同組合パルシステム千葉
なのはな生活協同組合

その他の団体
一般社団法人大浦事務所
さくら・市民ネットワーク
正覚院
千葉県協同組合提携推進協議会
千葉友の会
フード連合千葉地区協議会
明治大学政治経済学部
U A ゼンセン千葉県支部
一般社団法人労働者社会福祉協議会

千葉ロータリークラブ会員企業
 旭建設 旭建設株式会社
 株式会社京葉美装 株式会社京葉美装
 かんぽ生命 株式会社かんぽ生命保険千葉支店
 株式会社向後構造設計事務所
 さくらい 歯科医院 医療法人社団真葉会さくらい歯科医院
 翠 昂 会 社会福祉法人翠昂会
 SOU セレモニー株式会社
 大成建設 大成建設株式会社
 FIDES フィデス株式会社
 FUJISEIKO フジセイコー株式会社
 株式会社千葉マツダ
 REPCO 株式会社レプコ

2025 年度報告：たくさんのご寄付・助成金をいただきました。

【寄付：団体・企業】（敬称略） 251.1 万円
青山合同税理士法人・株式会社京葉銀行・国府台母子ホーム
常総生活協同組合・株式会社常陽銀行・生長の家白鳩会千葉教区連合会
千葉愛の教会・株式会社千葉ケイテクノ・千葉ロータリークラブ
有限会社ドレミ・株式会社日本資産総研ライオンズクラブ 333-C 地区
立正佼成会千葉教会 他

【寄付：個人】 111 件 129.6 万円
【主な助成金】
令和7年度千葉県フードバンク活動支援事業補助金 1.397 万円
赤い羽根共同募金助成 76 万円

「花の駅そが」公園で始まった地域イベントは、 たくさんの方々に支えられ、今年もにぎやかに開催します。

2021年4月よりコープ共済の助成金を活用して「生活協同組合パルシステム千葉」「淑徳大学」「フードバンクちば」を中心に「花の駅そが」公園という資源を起点に、近隣地域の方々や団体、生協組合員に広くボランティアへの参加を呼びかけ、公園美化をはじめ、花や野菜を育てる等、さまざまな人達の協働・交流の場となることを目指して、地域コミュニティづくり事業を開始。土作りから春の種まき、定植、園内の清掃、草取り、剪定等、現在も多くの企業や団体、個人ボランティアの方々にご協力いただいています。また、毎年開催している公園でのイベントは、次回9月26日(土)の開催で7回目を迎えます。新たにいただいたキッチンカー「おたまちゃん号」も加わり、地域のにぎわいの場として、多くの方々に愛される場として、「花の駅そが」公園を盛り立てていきます。ぜひ、遊びに来てください！！

■ 参加予定団体

生活協同組合パルシステム千葉 千葉センター：商品試食会
淑徳大学 コミュニティ政策学 部消費者法研究室：大学生による消費者問題クイズラリー
LIXIL トータルサービス：ワークショップ「風鈴の絵付け」
ティップネス蘇我：鉄棒教室



今年もNTT東日本千葉事業部の皆さんにひまわりの種を撒いていただきました。台風や大雨にも負けず、元気に花を咲かせてくれました。

蘇我コミュニティセンター：ダブルダッチサークルの発表 等
リンク・フードバンクさんぽ：緑日
ワーカーズコープちば：健康づくり体操
フードバンクちば：ガラボン、キッチンカーでの啓発活動、
フードドライブの実施 等
その他：バルーンアート、革小物のワークショップ 等

■ 運営サポート

おおぞら高校千葉キャンパス・学生団体ゆめいろ 他

■ 協賛

イトーヨーカドーアリオ蘇我店、JEF UNITED市原・千葉、
ハーバーシティ蘇我 他



フードバンク活動の継続にご協力ください！

フードバンク活動は、「食品を寄付する側も、提供を受ける側も営利を目的としない」という無償性の原則を大切にしています。この無償性こそが活動のアイデンティティであり、多くの方々の共感やご支援につながっています。しかしながら、フードバンク活動を継続するためには、支援に必要な食品・担い手・資金の確保が課題です。フードバンクへのニーズが高まり、活動規模が拡大する中で、これらの課題は今後も続いていくと考えられます。さらにフードバンクちばは、使用する建物に隣接する「花の駅そが」公園の維持管理も担っており、美化活動や公園利用の活性化も課題の1つです。これらの課題解決に向けて、皆さまからのご意見・ご助言をお待ちしております。ご連絡は、公式ホームページの「お問い合わせフォーム」よりお寄せください。

Problem 1. 寄付先の開拓・営業

- 寄付・寄贈・担い手等、様々な角度から企業や団体、個人へのアプローチが重要であるが、営業にかけられる人手や時間が十分ではない。
- 活動資金の安定確保のため、継続寄付・サポート会員の拡大が重要な鍵
- ネット寄付の仕組みを導入したが、周知が不十分

Join our team

体力に自信のある方
IT系が得意な方

スタッフ
ボランティア
募集中

Problem 2. 新たな人材の確保

- 活動開始時から10年以上が経過し、スタッフやボランティアも高齢化。肉体的にも負担が増加
- IT化の進展に対応できる専門スタッフの確保
- SNS等でリアルタイムの情報発信

Problem 3. 「花の駅そが」公園に活気を取り戻す

- 周辺の商業エリアが再開発され、公園の活性化が望まれている。
- 地域に根づくコミュニティづくりイベントの開催・定着を図る。

次回イベント開催予定：2026年9月26日(土) 10:00～

「フードバンクちばサポート会」入会のご案内

フードバンクちばの活動は、サポート会費や寄付に支えられています。ぜひサポート会への入会および寄付をご検討いただき、財政面からのバックアップをお願いいたします。

<サポート会入会方法>

郵便局の振込用紙の備考欄にお名前と連絡先、個人・団体のいづれかを明記し、下記口座に会費をご入金ください。

<会費>

個人サポート会員：1口2,000円/年(1口以上)
法人・団体サポート会員：1口10,000円/年(1口以上)

<会費納入先>

- 郵便振替口座
口座番号：00160-8-486977
口座名義：フードバンクちばサポート会
- ゆうちょ以外からの振込先
銀行名：ゆうちょ銀行
種別：当座 支店名：〇一九店
口座番号：0486977
口座名義：フードバンクちばサポート会



入会特典の缶バッジ

詳しくは公式ホームページをご覧ください！

① <http://foodbank-chiba.com>

☎ 043-301-4025 平日 10:00～17:00 ☎ 043-301-4026

※スタッフ不在の場合は留守番電話にメッセージをお伝えください。

フードバンクちば 〒260-0835 千葉市中央区川崎町 60 (花の駅そが内)

